

この瞬間もありがとうございます

慣れないパソコン操作で問題が起きて、一日中モニターとにらめっこをしていた後に、私は自転車に乗って出掛けました。普通ならクルマか電車で行く距離だったけど、その日はもう、とにかく『電気』はイヤだと思って自転車にしたのです。

あともうちょっとですっかり暗くなってしまう街並のなか、ゆっくりペダルを踏んで進んでいく。ああ、いいな、って思いました。さっきまでモヤーっとしていた頭もどンドンすっきりして。自分が漕いだ分だけ進んでいく。そういうのがいいなって思ったら、ラクーな気持ちになりました。

これから私が料理人として進んでいく道は、そんな道だろうな。できるかぎり長くこの仕事をしていきたくて、タケハーナにピリオドを打ちました。まだただけど、ほちほち歳も考えなくちゃ。笑。

ある人が教えてくれました。
「そういう決意のしかた、いち子さんらしくて心から応援するけど、タケハーナが大好きだった僕たちがものすごい喪失感を味わってること、いちさんはちゃんと分らんくちやいけない」と。

いくら自転車でもいい気になってついついスピードを上げ過ぎると「そこここにある」かけがえのない感情を見落としてしまうってことがチャーんと分ったとしたら、私はほんとうに美味しいものを作れるようになれるかも知れないと思います。

タケハーナだった時も、タケハーナが終わった後も、変わらない気持ちでいつも私を助けてくれる元スタッフ&元お客さんの皆様、どれだけお礼を言ったらいいか分からないくらいだけど、「また明日!」みたいな軽さで言わせてください。みんな、ありがとね